

ONE WORLD 1 / 命令文(定着コミュニケーション活動)

ブラインド宝探し——ことばだけで案内せよ

Class _____ No. _____ Name _____

 ゴール	教室マップの「宝の場所」を、命令文の指示だけで相手に伝えて当てさせる。
使う形	Go straight. Turn left [right] at ~. Stop. Don't ~.

やり方 ペアで。自分のカードだけを見て、英語で聞き合う

- 1

A has the treasure map. B has a blank map.
Aは宝の場所入りマップ、Bは白地図を持つ
- 2

A, guide B with commands only. No pointing!
Aが命令文だけで案内(指さし・日本語は禁止)。Bは白地図に道をなぞる
- 3

B, mark the treasure! Then switch roles.
Bが宝の位置に×印→答え合わせ→役割交代(Bカードの宝で)

✂ ここで半分に折る(AさんはAカード、BさんはBカードだけを見る)

Aカード(宝マップ①の案内係)

相手に見せない!

教室マップ: 入口 → 教卓の前を直進 → ピアノの角を左 → 本だなの前で止まる。宝は本だなの上。
Start at the door. Go straight to the teacher's desk. Turn left at the piano. Stop at the bookshelf!
↑そのまま読まず、地図を見ながら自分の言葉で。仕上げて Don't touch the piano! のような Don't を1つ入れる

Bカード(宝マップ②の案内係(交代用))

相手に見せない!

教室マップ: 窓側のいちばん前 → 黒板にそって直進 → ロッカーの角を右 → 先生のいすで止まる。宝は先生のいすの下。
Start at the front window. Go straight along the blackboard. Turn right at the lockers. Stop at the teacher's chair!
案内される側のコツ: 分からなくなったら One more time, please!

ふりかえり

☐ 動詞から始まる指示が言えた(×You go straight)

☐ Don't ~. を1回使えた

☐ 指示だけで相手が宝にたどり着けた

先生へ(この活動のねらいと運用)

命令文を「人を動かす」本来の機能で運用する使う練習。実際の教室の配置に合わせて口頭アレンジ可(マップは汎用の目印: 教卓・ピアノ・本だな・ロッカー)。通じない指示は相手が動けない＝正確さのフィードバックが即時に返る。応用(オリジナル体操)の前段として最適。